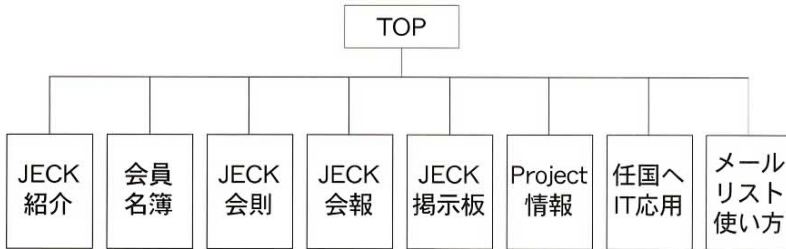


… JECKホームページ開設

JECKとして下記の構成を持ったホームページ
(<http://www.jeck.jp>)が開設された。



(JECKホームページより)

このホームページの当初の目標は下記の通りです。

- ① JECKメンバー間の親睦、意見の交換
- ② JECKイベント、プロジェクト状況のタイムリーな広報
- ③ JECKメンバー間、知識技術の交流および研修

開設して3ヶ月になります。その間、川崎国際ショナルフェスティバル、横浜国際祭りにおける展示などで、JECK会員の自己紹介など(ホームページ参照)として、JECK会員(123名)の派遣国別人数分布、専門職別人数分布など、世界地図やグラフを用いて、ホームページのデータを活用することが出来るようになりました。また、全般的には、当初の意図、期待に反して、アクセスする人は限られ、充分活用されていない状態にあります。その原因は、JECKホームページやアクセスの方法などが広く会員に知らされていないこと、関心が薄い内容かも? 魅力的な中身がない? 更新がタイムリーでないなどが考えられます。これらの不備については、ホームページを作成し管理する側として改善すべく努力します。

試作テストとしてみたとき、限られたアクセス仲間内での情報交換やITの勉強会などに役立つことが分かりました。今後は、反省点を配慮して、JECKメンバー間の輪を広げたいと考えます。皆様の協力を得て、タイムリーで、魅力的なホームページにしたいと考えますので、皆様の多方面からの意見を歓迎しています。

又、このホームページやメーリングリストも含めIT(情報処理、コンピュータの使い方)の1日セミナーを計画しています。今までの希望のあるテーマは ①IT基礎研修、②プレゼンテーションパッケージ(パワーポイント)の作り方、③写真入りカレンダー、名刺の作り方などです。

このホームページの活用やこのセミナーについて、皆さんの希望や意見をお寄せください。

あて先は:JECKホームページ担当:石井信行(ishiin@jeck.jp)、JECK事務局:谷保茂樹(tanihos@jeck.jp又Tel:045-988-4116)です。

… 投稿記事「JECKへの期待」

NPO法人 エーピーエスディー(APSD)
ソロモン諸島国駐在員 白藤 謙一



1990年代後半に勃発した民族紛争以降、ソロモン諸島国では治安の悪化や経済の長引く低迷、急激な人口増加による食糧不足、過度な森林伐採等の諸条件が重なり、自給自足を中心とする多くの国民は未だ不安定な生活を余儀なくされています。

APSDは2001年にODAの撤退を期に紛争復興を目的に元JOCV隊員有志により結成され、紛争予防、治安改善プロジェクトを皮切りに、現在は持続可能開発の機軸として定置型有機農業振興プロジェクトを展開してきました。団体設立の経緯からも当初よりJICA再開を日本国政府に陳情するなどの活動を行ってきました。昨年悲願の再開を果たしましたが未だにJICA専門家や協力隊の本格派遣には至らず、一度止まったODAの時計を巻き戻す事の難しさを日本のNGOとして見守りました。日本のODA貢献は当該国でも高く評価さ

れており、復興後の支援が一番必要な時期に空白を生んだ事によるデメリットは双方の信頼関係に少なからず影を落とした形になり「なぜ、今必要な手当てが出来ないのか…」この思いを現地でも痛感しました。JECKには、各専門家が有する高い技術と豊富な経験を集約し、それを組織として戦略的に外部へ活用していくことを強く期待致します。政府・企業・NGOのどれにも属さないユニークな形態をとり、ODAと草の根支援、双方のメリット、デメリットに十分理解のあるJECKが、積極的に外部組織と連携を図ることにより、途上国の現地政府や地域住民に対し、より迅速且つ適切な精度の高い支援を可能にすると考えます。

… 神奈川県海外技術研修員受入事業

神奈川県では、県国際課を窓口として、毎年「海外技術研修員受入事業」を実施しています。事業の目的は、地域からの国際貢献の一貫として、発展途上国等から技術取得のための研修員を受入れ、県内試験研究機関等で実務研修を実施することであり、本年度もカンボジア、ルアンダ等から医療分野等で8名の研修員が招聘されました。その内の一人、メキシコから参加のエステラ・パチェコさん(写真)は、水道技術の分野でJECKが推薦機関となって受入れが実現されました。

